


つとむ まなぶ むすぶ



よろこび

2018年3月号(No.16)

CONTENTS

- 2 「子どもが集うまちづくり(公民館)活動を考える」
- 2 施設紹介 ようこそ!まなびの杜「研修室」
- 3 市民センのひろば ほか
- 3 地域レポート・まちづくり探検隊「第34回北浦一周歩く会」
- 4 INTERVIEW ROOM・きらり★まちづくり「KASHIMAキッズダンス応援隊」



食育たんぽぽの会



第19回鹿嶋市文化フェスティバル 於:市民ギャラリー



ピリ・アロハ



第15回鹿嶋市まちづくり市民大会 アトラクション



たまでばこ



第15回鹿嶋市まちづくり市民大会



かしま灘楽習塾 「デジタルフォト」



かしま灘楽習塾 「骨盤調整ヨガ」



かしま灘楽習塾 「60才からのヨーガ(男女)」



第19回鹿嶋市文化フェスティバル 於:体育館



第15回鹿嶋市まちづくり市民大会 団体表彰

～子どもが集うまちづくり(公民館)活動を考える～

2月4日(日)に開催された第15回鹿嶋市まちづくり市民大会から第2部基調提案・提案発表シンポジウムの内容を紹介します。



基調提案

常磐大学 砂金(いさご)准教授から、「子どもの貧困」に地域で取り組むことの重要性について基調提案がありました。

少子化が一段と進行している中で子どもの貧困が増加していること、鹿嶋市も例外ではないことをデータで紹介。また、貧困層は地域の絆からはずれているので子どもの貧困は見えにくい・発見しにくいこと、だから「うちの地区には子どもの貧困なんてない」という認識が多くなっている。「子どもの貧困」と「子どもの居場所づくり」に取り組むことが極めて重要で、こうした取組みが「地域の絆」を強め、地域を活性化させる鍵のひとつとなると話されました。

提案発表&シンポジウム

豊津地区まちづくり委員会和田委員長と三笠地区まちづくり委員会生きがい専門部市田部長から、それぞれの現在の子ども対象事業の取り組みと新たな人材、地域資源を活用し、新たな参加者を取り込む、これから取り組んでいきたい子ども、親子、3世代対象事業の発表がありました。

その後、茨城NPOセンター・コモンズ大野事務局長、教育委員会箕輪社会教育主事、平井公民館坂内(ばんない)主事が加わり、学校や公民館における子ども対象事業の状況や課

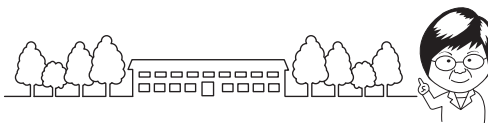
題、フードバンク、子ども食堂、きずなBOXなどの取り組みについて話し合いました。公民館事業では子どもの貧困について意識することはなかったのが実情で、子どもに意識させないよう取り組むことも大切。すべての子どもに事業に参加してもらうには学校と公民館の連携が必要。きずなBOXや学習支援などについて公民館で取り組んでみたいなど意見がありました。



▲パネリストの皆さん

子どもの貧困や地域の課題は簡単には解決が難しいが、地域でできないことは行政や教育委員会、学校、公民館、NPOなど地域の枠を越えて話し合うことで新たな展開が開け、また新たな絆が結ばれていく。一人ひとりが自分たちができることを行い、地域ではできないことはどこにどう繋いでいくのか考えることが解決の第一歩としてシンポジウムを結びました。

～まちづくり市民センターの館内をシリーズで紹介～



ようこそ!まなびの杜 (vol.12) 「研修室」

研修室は館内に5部屋あります。学習・会議・書道・華道(フラワーアレンジメント含む)・手芸など様々な用途での利用が可能です。施設の予約は利用日の前月の1日より受付けています。各部屋の詳細については下記の一覧表でご確認ください。※市内在住・在勤・在学者は無料で利用できます。



▲研修室202の室内

室名	階	定員	面積(m ²)	設置備品等	使用料金 2時間まで	2時間を超える場合 1時間ごとに加算
研修室201	2階	40	55	机20/イス40/黒板/暗幕	720円	360円
研修室202		48	68	机24/イス48/黒板/暗幕	820円	410円
研修室203		24	39	机12/イス24	510円	250円
研修室301	3階	40	55	机20/イス40/黒板/暗幕	720円	360円
研修室302		38	55	机19/イス38/黒板	720円	360円
研修室303		38	55	机19/イス38/黒板	720円	360円
研修室304		32	55	机9/イス20	720円	360円

利用しています!!
市民センの **ひ** **ろ** **ば**



かしま灘楽習塾
 「和服リフォーム・小物講座」講師
大川 静子さん(神栖市)

着物・帯などを洋服やバックに変身させておられますが、昔の職人技には関心するばかりです。西陣織、加賀友禅、羽織紐など…。日本文化は素晴らしい!



スウィートサウンズ
 カノウ ヤスナオ
狩野 泰脩さん(高天原)

バンドを結成した当時は練習場所を探すことが大変でした。市民センターで定期利用団体登録を利用して予約をしているので、助かっております。

手先を使い、頭を働かせているとボケないと云われています。いつまでも若々しく元気に過ごしましょう。



かしま灘楽習塾
 「手あみ教室(いとゆう)」講師
高野 美江子さん(神栖市)

地域レポート



まちづくり探検隊 (vol.16)

豊郷地区まちづくり委員会主催
「第34回 北浦一周歩く会」
 2月18日(日)開催



▲レイクエコー前で記念撮影

北浦一周歩く会の始まりは、親子で北浦湖岸を散歩していた時、子どもから「北浦の向こうには何かあるの?」と質問をされ、「よし、それなら歩いて一周してみよう!」と言ったことがきっかけとなり、お子さんの小学校の同級生あわせて4人で一周したことが始まりです。その当時は、まだ北浦大橋は無く全56kmの行程を、朝5時に出発し神宮橋を渡り、鹿行大橋を通過して、午後7時ようやくたどり着いたようです。現在のコースは、朝7時30分に豊郷まちづくりセンターを出発、スサキ保育園・大生原公民館でトイレ休憩を取りながら、白浜少年自然の家で昼食をとり、昼食後、お楽しみ抽選会・記念撮影をした後、13時30分に再出発し、北浦大橋を通過してセンターがゴールで一周になります。33kmと以前より23km短くなったものの、ゴールするときの達成感は参加した人でないと味わえないものがあります。

今では市内はもとより、市外からも参加される方もいて、毎年役員を含めて総勢約150人、参加者の年齢層も幅広く、下は幼児から上は77歳の方の参加もありました。特に高齢の方は普段からウォーキングをして鍛えている方が多いようで、ほとんどの方が完歩しています。なかには「娘が小学生の時に一緒に歩いてから29年間連続で参加しています」という70代の方もいました。

この歩く会は、当初は一周歩くことが目的でしたが、今では堤防周辺に落ちてくるゴミを可燃ゴミと資源ゴミに分別して拾いながら歩いています。30年以上続いている行事ですので、小学生のとき参加した人が成人し、子どもが生まれてその子どもと一緒に参加するといったように2世代に渡って挑戦している人を見かけると歴史を感じます。また、3世代で参加している姿をみるとほほえましく感じられます。



▲先頭は、大きな旗を持ちながら歩きます



▲ゴミを発見! 堤防をおりて回収します

施設を利用するには

申込方法

予約は利用日の前月1日から受け付けます。(9:00~20:00) 窓口または電話で予約してください。ただし、電話での予約は仮予約扱いとなりますので、利用日の5日前までに使用許可申請書の提出をお願いします。

利用日が決まったら

- 部屋の空き状況を確認
- 施設利用申請書を提出
- 施設使用許可書を受け取る(予約完了)

利用日当日(入室)

- 施設使用許可書を掲示
- 部屋のカギを受け取る
- カギを開けて入室

利用日当日(退室)

- 部屋の清掃と整頓
- カギ(窓・出入口)を閉めて退室
- カギと使用報告書を提出(終了)

使用料金

市内に在住、在勤、在学の方は無料でご利用いただけます。詳細については、お気軽にお問い合わせ下さい。

きらり★まちづくり(vol16)

私たち、盛り上げます!

KASHIMAキッズダンス応援隊



2019年茨城国体のPR活動や国体ダンスの普及などを行う、笑顔と元気いっぱいの応援隊27人です。いきいき茨城ゆめ国体2019のイメージソング「そして未来へ」にあわせて、難易度が異なる2つのパターン(スタンダード・エキスパート)のダンスを披露します。

結 成

2019年いきいき茨城ゆめ国体のPR活動を行うために市内の小中高生に参加を呼びかけたところ27人が応募してくれました。「元々ダンスが好きで、好きなダンスで茨城国体に貢献できることが素晴らしいと思った。」「体を動かすことが好きで、興味のあるダンスができると知ったから。」「この活動を通して、茨城や鹿嶋を盛り上げて、素敵な茨城国体にしたいと思った。」などみんなやる気満々です。

約1ヶ月のレッスンののち、平成29年12月8日に、第74回国民体育大会鹿嶋市実行委員会会長(鹿嶋市長)から応援隊に任命されました。

メンバー

リーダーの鹿島学園高校1年笹沼寿梨(ささぬま じゅり)さん、サブリーダー清真学園高校1年根本 真綾(ねもと まあや)さんが応援隊を率います。

小学校3年生から高校1年まで、幅広い年齢のメンバーですが、お互い

にアドバイスをし合い、良い意味で和気あいあいと賑やか、いつでも笑顔あふれる明るいメンバーです。

現在の活動

毎月第2・4土曜日にカシマススポーツセンター・サブアリーナでダンスレッスンに励んでいます。また、市内のイベントに参加させていただき、茨城国体のPR活動を行っています。

これまで、昨年12月8日“大野まちづくりセンター”でダンス初披露、9日“茨城県主催国体ダンスコンテスト”(つくば市)に参加、17日“鹿島灘はまぐり祭”、今年2月4日の“まちづくり市民大会”でアトラクション、同日“第1回きんぶんde Dance”、2月25日“第22回ひらいまつり”にも参加しました。

茨城国体に向けて

鹿嶋市は2019年国民体育大会いきいき茨城ゆめ国体において、成年及び少年男子のサッカー競技を開催します。市民の一人ひとりが大会の開催意義を理解し、それぞれの立場で

国体を支え、全国から来訪する選手、関係者をおもてなしの心で歓迎していただきたいと思います。そのために応援隊は、みんなで楽しく国体ダンスを踊ってPR活動を行い、茨城や鹿嶋の良さを多くの方に伝えていきます。

市内各種イベントの出演オファーをお待ちしております。

詳細につきましては第74回国民体育大会鹿嶋市実行委員会事務局(鹿嶋市役所スポーツ推進課国体推進室内)

TEL:0299-82-2911(内線565/567)

Mail:sport1@city.ibaraki-kashima.lg.jp
までお問い合わせください



▲錦織市長より応援隊に任命されました



▲第1回きんぶんde Danceのステージより



▲第15回鹿嶋市まちづくり市民大会アトラクションより



▲レッスン中のメンバー